



南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141



6月号

6年生が楽しみにしていた修学旅行に行ってきました。修学旅行は小学校生活の中でも、特に思い出に残る行事の一つです。そんな中、すごいと思ったのは、入館式、学年の集い、退館式など、前に出て話をする子どもたちがきちんとその場面をリードしていることでした。しっかり、はっきりと内容を伝え、とてもテキパキと進行していました。特に、バスレクでは、レク係を中心に、みんなで楽しくなるように協力し、雰囲気盛り上げていました。もちろん班行動もルールを守って行動していました。

南林間に到着し、中央公園に向かうときに、子どもに「何が楽しかった。」と聞いてみると、その子は「宿でみんなと過ごしたこと。」と答えていました。いろいろな仲間と、いろいろな話ができたとのことでした。

子どもたちは、日々、様々な経験をし、成長していきます。仲間と協力して物事に取り組むことの大切さや難しさ、素晴らしさなど。6年生が示してくれた主体的に物事を進める力、仲間と協力して楽しむ力、仲間を大切にできる力など、これからも南林間小学校として大事にし、学校生活や行事を通して育てていきたいと思えます。引き続きご協力をよろしくお願いします。

また、6月は梅雨の季節であることや、9月には台風というように、これから悪天候による対応が考えられます。4月に配付した『家庭保存版 大雨洪水等 気象に関する「警報」が発令された場合の対応について』をご確認いただくとともに、昨年のように突然の大雨などにより警報が出て、急な下校が予想されます。その場合は「すぐーる」でお知らせします。教職員の見守りも行いますが、保護者や地域の方々が見守っていただければ幸いです。併せて、「震度5弱以上の地震発生時における対応」「緊急避難時の児童の引き渡しについて」のご確認もお願いします。

(校長)



朝の正門前、昇降口で立っていると、虫かごで世話をしている「かなへび」の飼育の仕方を説明してくれる子、軽く握った手のひらをそっと開いてつかまえた「ダンゴムシ」を見せてくれる子、最近飛んでこないツバメの身を案じている子、マリーゴールドの成長の様子を嬉しそうに見せてくれる子、「大変、ハチの巣ができてるよ!」と懸命に教えにきてくれる子など、色々な表情をした子どもたちが話しかけてきます。時には博士のように、子を見守る母親のように、宝物を見つけた探検家のように。

雨でムシムシする日も、汗がジワっと出てくる日も、そんな子どもたちの「発見」や「気づき」には欠かせない季節の変化の中の1日と思えば、歓迎する気持ちもわいてくるのが不思議です。

雨の日も増えてきますが、子どもたちの新たな「発見」を楽しみにしていようと思えます。(教頭)